

退学届・休学届・科目変更届

退学届・休学届・科目変更届は、事前に窓口^に提出してください。

来校が遅れる場合や遠隔地の場合などは、電話またはメールにてご相談ください。

A 退学届

全科目の受講をやめて、今年度中に復学する予定がない場合に提出してください。

- ・入学後 4 週目の講義が終わるまでは、退学できません。
- ・最終講(6/28～7/4)までの退学者は、二次試験直前対策講座【後期】(予定)・三次試験直前対策講座(予定)を受講できない場合がありますのでご注意ください。詳細は p.30～32 をご覧ください。
- ・退学後の「教養月例テスト」の購入には実費が必要です。必要な方は退学時にお支払いをお願いします。退学した月の翌月以降の「教養月例テスト」の受験はできません。
- ・教養の受講者が退学する場合、教養教材は月 1 回月末の郵送でのお渡しになります。別途事務手数料(郵送費込み)が必要です。ご了承ください。詳細は p.15 の「③ 教養の受講者が途中から「教養教材のみ購入」になる場合」をご覧ください。
- ・6/19(土)～6/21(月)実施予定の教養模擬試験は、退学後でも当該年度は申込をすれば無料で受験できます。詳細は p.28 をご覧ください。
- ・退学届提出以降の授業料は返金します。一括払いの方が退学する場合は、月謝払いの料金をいただいて、返金します。退学時期が遅い場合には、一括払いの金額よりも月謝払いにした金額の方が高くなることがあります。その際には、返金がありません。
- ・退学届提出から授業料の返金までは、10 日前後かかります。ご了承ください。

B 休学届

全科目の受講をやめて、今年度中に復学する予定がある場合に提出してください。

休学期間が、連続する 4 回以上の場合に限ります(約 4 週以上)。

休学中に希望する受講科目が満席になった場合、その科目の受講を再開できない場合もあります。この点を確認した上で、休学届を提出してください。

受講を再開する場合には、**復学届**を提出してください。

- ・事前の提出に限ります。
- ・入学後 4 週目の講義が終わるまでは、休学できません。
- ・4/12(月)以降に休学期間がある方は、二次試験直前対策講座【後期】(予定)・三次試験直前対策講座(予定)を受講できない場合があります。沖縄県のへき地の公立学校勤務のために、休学した受講生には、特例措置があります。詳細は p.32 をご覧ください。
- ・休学中の「教養月例テスト」の購入には実費が必要です。必要な方は休学時にお支払いをお願いします。

す。休学期間中の「教養月例テスト」の受験はできません。

- ・ 休学届提出の際に、教養月例テストの「受験票」を返却してください。復学時に再発行します。
- ・ 教養の受講者が休学する場合、休学期間中の教養教材は月 1 回月末の郵送でのお渡しになります。別途事務手数料(郵送費込み)が必要です。ご了承ください。詳細は p.15 の「③ 教養の受講者が途中から「教養教材のみ購入」になる場合」をご覧ください。
- ・ 6/19(土)～6/21(月)実施予定の教養模擬試験は、退学後でも当該年度は申込をすれば無料で受験できます。詳細は p.28 をご覧ください。
- ・ 休学届提出期間の授業料は返金します。一括払いの方が休学する場合は、月謝払いの料金をいただいて、返金します。休学期間が短い場合には、一括払いの金額よりも月謝払いにした金額の方が高くなることがあります。その際には、返金がありません。
- ・ 休学届提出から授業料の返金までは、10 日前後かかります。ご了承ください。

C 科目変更届

下記の(1)～(4)のいずれかの場合に提出してください。

- (1) 一部の科目の受講をやめる
- (2) 同一科目の受講する校舎・曜日・時間帯を変更する
- (3) 受講科目を増やす
- (4) 「教養教材のみ購入」「保健体育A資料のみ購入」の方が受講を開始する

- ・ 事前の提出に限ります。
- ・ (1)(2)の科目変更届は、約 1 か月に 1 回しかできません。
- ・ (2)については、短期間であれば振り替え出席制度の利用も検討してみてください。
- ・ 入学後 4 週目の講義が終わるまでは、上記の(1)の科目変更はできません。
- ・ 上記の(3)(4)の科目変更の場合には、教材費・授業料の前払いが必要です。
- ・ 受講科目を減らす科目変更の場合、受講しなくなる科目の授業料は返金します。一括払いの方が科目変更(受講科目を減らす)する場合は、月謝払いの料金をいただいて、返金します。受講科目を減らす期間が短い場合には、一括払いの金額よりも月謝払いにした金額の方が高くなる場合があります。その際には、返金がありません。
- ・ 受講科目を減らす科目変更届提出から授業料の返金までは、10 日前後かかります。ご了承ください。

☆ 教養・論文・小学校A・小学校Bの受講クラスは固定制です。

ただし、当該曜日・クラスで受講できない場合は、「振り替え出席制度」が利用できません。→教養の振り替え出席制度については、p.24～25 をご覧ください。

- ・ 同一科目について 4 週で 3 回以上の振り替え出席となる場合は、科目変更届を提出し、校舎・曜日・時

間帯を変更することを検討してください。

- ・「教養教材のみ購入」の方には、退学・休学の制度がありません。教材が必要ない場合に、発送を止めることは可能です。電話やメールで連絡ください。その場合には事務手数料(郵送費)の一部を返金します。
- ・「保健体育A資料のみ購入」の方は、退学・休学ともに可能です。それぞれ退学届・休学届を提出してください。退学届提出以降・休学届提出期間の授業料は返金します。一括払いの方が退学・休学する場合は、月謝払いの料金をいただいて、返金します。退学時期が遅い場合・休学期間が短い場合には、一括払いの金額よりも月謝払いにした金額の方が高くなる場合があります。その際には、返金がありません。

振り替え出席制度

次の(1)の科目については、仕事などの事情により受講している曜日・時間の授業に出席できない場合、異なる曜日・時間の授業に振り替え出席ができます。

(1) 対象科目 教養・小学校A・小学校B・論文

- ・ 次の各科目については、異なる曜日・時間に同じ内容の授業を行っており、振り替え出席が可能です。

科目	振り替えの対象となる授業の曜日・時間	カリキュラムの参照ページ
教養(3クラス)	「本校・日曜日・午前」, 「本校・火曜日・夜」 「沖縄校・木曜日・夜」	p.65～66
小学校A(3クラス)	「本校・土曜日・午後」, 「本校・木曜日・夜」 「沖縄校・火曜日・夜」	p.67～70
小学校B(2クラス)	「本校・月曜日・夜」, 「本校・金曜日・夜」	p.71
論文(4クラス)	「本校・土曜日・午前(3/6開講予定)」 「本校・土曜日・午後」, 「本校・日曜日・午前」 「沖縄校・金曜日・夜」	p.97～99

※自分の他の受講科目の曜日・時間帯と重なっていないか、ご確認ください。

※同一科目について4週で3回以上の振り替え出席となる場合は、科目変更届を提出し、校舎・曜日・時間帯を変更することも検討してみてください。科目変更届の詳細はp.22～23をご覧ください。

(2) 手続きの流れ

- ① 申請は以下のメセナ予備校ホームページの専用ページから。

<http://mecenat-yobiko.jp/mecenat/tc-furikaeform/>

- ② 「振り替え出席の希望日」の**2週間前～前日 18時まで**に申請し、受理メールを確認の上、「振り替え出席の希望日」当日に受講して下さい。

→受講許可証の交付はありません。直接授業に参加してください。

→「本来の受講日」の後に、「振り替え出席の希望日」がある場合にも、受講を認めます。

→ただし、残り席数が少なくなった場合には、次の③のように受講ができない場合がありますのでご注意ください。

→受理メールが届かない場合には、申し訳ありませんが電話で本校 098-863-5521 までお問い合わせください。

※前日までに申請が間に合わなかった場合は、当日に電話で連絡をください。

③ 申請の際には、次の項目を必ず記入してください。

- ・ 氏名(必ずフルネームで)
- ・ メールアドレス
- ・ 電話番号
- ・ 科目(教養・小学校A・小学校B・論文のうちから)
- ・ 現在受講している校舎・曜日・時間帯

科目	校舎・曜日・時間帯
教養	「本校・日曜日・午前」,「本校・火曜日・夜」,「沖縄校・木曜日・夜」のいずれか
小学校A	「本校・土曜日・午後」,「本校・木曜日・夜」,「沖縄校・火曜日・夜」のいずれか
小学校B	「本校・月曜日・夜」,「本校・金曜日・夜」のいずれか
論文	「本校・土曜日・午前(3/6 開講予定)」,「本校・土曜日・午後」 「本校・日曜日・午前」,「沖縄校・金曜日・夜」のいずれか

- ・ 出席できない講義回・日付・講義内容
→たとえば、「3 講・11/15・教育原理」。
→カリキュラム表の「教科」や「テーマ」についても記入してください。教養と論文は、「学習指導要領(1)」・「めざす授業像」などのテーマ名を、小学校Aと小学校 B は、「理科・社会」や「家庭・外国語活動・総合的な学習の時間」などの教科名を記入してください。
※他の授業と識別できる範囲であれば、「家庭・～」などと省略してもかまいません。
- ・ 振り替えの出席を希望する校舎・日付・曜日・時間帯
→たとえば、「本校・11/17・火曜日・夜」。
→その時間帯に他の科目を受講登録している場合は振り替え出席はできません。ご注意ください。

④ 専用ページに記入・送信後に、メセナ予備校から受理メールを自動送信します。

→受理メールが届かない場合には、次の2つの理由が考えられます。

- ご自身のメールアドレスを間違えて入力した。
→専用ページで最初から入力をやりなおしてください。
- メセナ予備校からのメールが受信できない状態になっている。
→この場合、受講許可または受講不許可のメールも受信できません。
→メセナ予備校(~@mecenat-yobiko.jp)からのメールを受信できる状態にしてください。

⑤ 振り替え出席の当日は、直接授業に参加してください。

※受理メールが届かなかった場合や、振り替えの申請手続きがまだの場合は、前もって電話で(又は窓口で)、受講できるかどうか確認してください。